

Table with 4 main columns: 事務事業名 (中村地区女性学級事業), 担当 (教育委員会 生涯学習課 中村分館), 政策名 (B 学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり), 電話番号 (0285-82-2902), 施策名 (1 生涯学習の推進), 実施計画上の主要事業 (checkbox), 基本事業名, 法令根拠 (社会教育法、真岡市公民館設置条例), 事業期間 (checkboxes for single year, multi-year, etc.), 予算科目 (1. 一般会計, 10. 教育費, 4社会教育費, 1社会教育総務費), 事業概要 (女性の社会参加が進む中で、中村地区の成人女性を対象に自己啓発と仲間づくりを目的とした学習機会を提供し、家庭や地域で必要とされる様々な課題について自主的に企画運営を行い学習を進めていく。毎年50人を募集し、年10回程度開講する。)

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

Main table for objectives and indicators. It is divided into three parts: (1) ①手段 (主要活動) and ⑤活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) の推移; (2) ②対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 and ⑥対象指標 (対象の大きさを表す指標) の推移; (3) ③意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか) and ⑦成果指標 (対象における意図された対象の程度) の推移. Each part includes a description of the activity/objective and a table of indicators with columns for name, unit, and years 22-26.

(2) 総事業費の推移

Table showing the total project cost trend. Columns include: 投入量 (Investment), 事業費 (Project Cost), 財源内訳 (Source Breakdown), 単位 (Unit), 22年度(実績) (22 Actual), 23年度(実績) (23 Actual), 24年度(実績) (24 Actual), 25年度(実績) (25 Actual), 26年度(見込) (26 Forecast). Rows include: 国庫支出金 (National Treasury), 県支出金 (Prefecture), 地方債 (Local Bonds), その他 (Others), 一般財源 (General Resources), 事業費計 (A) (Total Project Cost), 正規職員従事人数 (Regular Staff), 延べ業務時間 (Total Working Hours), 人件費計 (B) (Total Personnel Cost), and トータルコスト(A)+(B) (Total Cost).

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

Table for environmental changes and citizen opinions. It contains three questions: ①この事務事業を開始したきっかけは何か? (What was the reason for starting this project?), ②事務事業を取り巻く状況 (対象者や根拠法令等) はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? (How has the situation changed, and when did it start, or how has it changed compared to 5 years ago?), ③この事務事業に対して関係者 (住民、議会、事業対象者、利害関係者等) からどんな意見や要望が寄せられているか? (What opinions or requests are being received from stakeholders?).

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 自主的に企画運営することは生涯学習の推進に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 生涯学習の機会を提供することは市の責務である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 中村地区の全成人女性が対象である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 受講生が自主的に企画運営している。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 女性の社会参加と学習機会が減少し、仲間づくりと住みよい地域づくりが停滞する。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の経費であり削減の余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の人員である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 地区内の全成人女性が対象であり、教材費等は受講生が実費負担する。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							